

当事者団体連絡会報告

2011年3月~6月

相談支援事業 について

項目	現 状	課 題 と 提 案	
相談支援事業の 中立と質の向上	1. 当事者の生活や問題の実態の理解が求められている 2. より良い相談支援のために基幹相談支援センター方式が望まれる 3. 利用者が相談しても明確な回答が得られないため、次に繋がらない。利用者もスムーズに相談ができるような工夫が必要と思われる	課 題	1. 利用者アンケートで利用者の感想をじかに知ること 2. 基幹相談支援センターについては事務局により検討がなされる 3. 相談支援事業をスムーズに活用するためには、本人や家族がそれぞれの状況を整理することが必要
		提 案	1. 利用者アンケートの活用 2. 状況の整理のために「本人・家族のための相談作成シート」(むつみ会作成)や「サポートブック」(団体作成のもの、事務局が検討中のもの等)を活用する 3. 上記2について、周知方法などは今後当事者団体連絡会で検討する
相談支援事業の環境	1. 総合福祉センターに相談室3が確保された	課 題	1. 総合福祉センターの相談室が一室である 2. 音が聞こえる状態である
		提 案	1. プライバシー保護の観点から「防音」は大切であるので対応が必要 2. 相談室の数については今後の状況を見守る必要がある
「相談支援」の周知	1. 各当事者団体が会員に周知する 2. 行政による周知(広報・ホームページ、更新時等に情報提供)の継続 3. 相談支援事業所独自のチラシなどの配布	課 題	1. 支援センターを知らない人がいる 2. 利用者の相談支援に対する理解(何をしてくれるか)があいまいである
		提 案	1. 行政・事業所・当事者団体がそれぞれの立場からできる形での周知につとめることが必要

当事者団体連絡会について

項目	内 容	課 題
当事者団体連絡会 毎月第二木曜日(原則) H23.3~H23.6	1. 相談支援事業について検証 2. 各当事者団体の活動状況等報告 3. 各団体の困りごと・要望などの確認 4. 「運営会議」への出席 H23.3~H23.6 毎月第3金曜日 5. 部会への参加・報告	1. 当事者団体連絡会としての共通課題の抽出 2. 「生活」という観点で障がいの枠を超えて考えてみる

当事者団体について

団 体	課 題		必 要 な 支 援
	H23.3 協議会	現 状 (困りごと)	
身体障害者福祉協会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 協会の存在PRの不足 2. 広報誌などへの掲載、行政の協力が必要 3. 情報が届いていない人が多い 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 雇用促進・施策の充実 2. 雇用率達成の要望 3. ガソリン券を100→150に増量 4. 広報で協会の活動の紹介 5. 身障者全員に制度の周知を 6. 歩道の改修などは身障者の意見を聞いて 7. 市民病院の障がい者用駐車スペースに屋根の設置 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本人のみの生活になった時の支援→GH・CH、入所施設 2. 障がい者の就労支援(市役所などへの採用) 3. 心身障がい者医療費助成の継続 4. 年金、諸手当を大幅に増額し所得保障
肢体不自由児・者 父母の会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 卒業後の日中活動の場所 2. 将来の地域での生活(ケアホーム等) 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 卒業後の日中活動の場の確保 2. 将来の生活に対する不安 3. GH・CHなどの必要は感じて、確保の取り掛かりの糸口がつかめない 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日中活動部会への提案→①医療ケアを必要とする人を受け入れる生活介護事業所 ②介助が必要な車いすの人も働ける就労継続支援B型事業所 2. GH・CH設立、運営のための理解と協力
手をつなぐ育成会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 若い世代への会のPRの必要 2. 日中活動と生活の場での支援の連携 3. 障がいの重い人がサービスを利用できないケースの検討 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生活の場の確保 2. つなぎのサービスの充実 3. 学齢期の問題の把握が難しい 	<ol style="list-style-type: none"> 1. GH・CHの設置、一人暮らしの場について 2. 理解者、支援者の確保 <p>※「つなぎ」とは・・・①在宅で利用できる福祉サービス全般②生活の場⇔日中活動の移動手段(有償、利用者加算、シティバス等) ③「生活と生活」・「生活と日中」のつなぎ→ショートステイ、日中一時支援、居宅支援、移動支援・行動援護 ④余暇の場(例:土日はさま) ⑤制度外の部分・・・たとえば一人暮らしの夜間の確認、アフター4(日中活動後のサービス) ⑥「つなぎ」の実現のための連携システム</p>
精神障害者家族会 むつみ会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域活動支援センターやサロンの場 2. 関係機関の協力が必要 3. 医療費の助成に関して他の障がいとの格差がある 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本人同士が交流出来る場(きっかけ作り)制度やサービス、人間関係作り等に繋がらない 2. 発病間もない本人を支える家族から長年誰にも話せない等の家族の支援として情報や交流の出来る場が必要 3. 一般医療費助成(年金以外に安定した収入が得られない) 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域活動支援センター(基礎的事業・機能強化事業)(精神を主とした)参加しやすいサロンの場等本人のニーズに合った交流の場の確保のため関係機関の理解と協力 2. 家族への段階的な学習・情報収集・交流の出来る場が必要。 3. GH・CHの設置(親亡き後ではなく親が元気なうちに) 4. 一般医療費助成

当事者団体について

団 体	課 題		必 要 な 支 援
	H23.3 協議会	現 状 (困りごと)	
身体障害者福祉協会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 協会の存在PRの不足 2. 広報誌などへの掲載、行政の協力が必要 3. 情報が届いていない人が多い 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 雇用促進・施策の充実 2. 雇用率達成の要望 3. ガソリン券を100→150に増量 4. 広報で協会の活動の紹介 5. 身障者全員に制度の周知を 6. 歩道の改修などは身障者の意見を聞いて 7. 市民病院の障がい者用駐車スペースに屋根の設置 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本人のみの生活になった時の支援→GH・CH、入所施設 2. 障がい者の就労支援(市役所などへの採用) 3. 心身障がい者医療費助成の継続 4. 年金、諸手当を大幅に増額し所得保障
肢体不自由児・者の父母の会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 卒業後の日中活動の場所 2. 将来の地域での生活(ケアホーム等) 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 卒業後の日中活動の場の確保 2. 将来の生活に対する不安 3. GH・CHなどの必要は感じて、確保の取り掛かりの糸口がつかめない 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日中活動部会への提案→①医療ケアを必要とする人を受け入れる生活介護事業所 ②介助が必要な車いすの人も働ける就労継続支援B型事業所 2. GH・CH 設立、運営のための理解と協力
手をつなぐ育成会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 若い世代への会のPRの必要 2. 日中活動と生活の場での支援の連携 3. 障がいの重い人がサービスを利用できないケースの検討 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生活の場の確保 2. つなぎのサービスの充実 3. 学齢期の問題の把握が難しい 	<ol style="list-style-type: none"> 1. GH・CHの設置、一人暮らしの場について 2. 理解者、支援者の確保 <p>※「つなぎ」とは・・・①在宅で利用できる福祉サービス全般②生活の場⇄日中活動の移動手段(有償、利用者加算、シティバス等) ③「生活と生活」・「生活と日中」のつなぎ→ショートステイ、日中一時支援、居宅支援、移動支援・行動援護 ④余暇の場(例:土日のはさま) ⑤制度外の部分・・・たとえば一人暮らしの夜間の確認、アフター4(日中活動後のサービス) ⑥「つなぎ」の実現のための連携システム</p>
精神障害者家族会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域活動支援センターやサロンの場 2. 関係機関の協力が必要 3. 医療費の助成に関して他の障がいとの格差がある 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本人同士が交流出来る場(きっかけ作り)制度やサービス、人間関係作り等に繋がらない 2. 発病間もない本人を支える家族から長年誰にも話せない等の家族の支援として情報や交流の出来る場が必要 3. 一般医療費助成(年金以外に安定した収入が得られない) 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域活動支援センター(基礎的事業・機能強化事業)(精神を主とした)参加しやすいサロンの場等本人のニーズに合った交流の場の確保のため関係機関の理解と協力 2. 家族への段階的な学習・情報収集・交流の出来る場が必要。 3. GH・CHの設置(親亡き後ではなく親が元気なうちに) 4. 一般医療費助成